

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～28 台を示し、かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の55%（前年を下回った）。
- イカ釣----シケのため出漁日数が少なかった。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網----五島魚目地区では、バショウカジキなどが1日1統当たり336kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ツムブリなどが1日1統当たり7kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり217kgの水揚げ。
- 一本釣----北松宇久地区では、カマスが1日当たり18kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(10/15～10/20の6日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸～岩手県久慈沖で操業。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、山陰沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部(沖合船)は、4日延14隻、総計346箱、1航海最高117箱、平均24.7箱。スルメイカ(15～40入)76箱、ケンサキイカ(2～3立半)270箱の混獲となった。

(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-21号 6県ケンサキイカ情報(令和7年度 第5号)」・「第7-22号 今期のトビウオ漁模様・今期のトビウオ漁況予報の検証」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>